

江東区の職場・地域、議会など
くらし・平和を守る運動をご紹介します。

新しい年を国民本位の 政治前進へ!

今年には参議院選挙の年、国民本位の政治へ前進のチャンスです。党・江東地区委員会は東京選挙区・小池 参議院議員、比例・田村智子さん勝利に全力をあげます。また一体で活動する次期区議候補者を発表しました。

明けましておめでとうをいいます



参院東京選挙区候補

小池 あきら

参院比例代表候補

田村 智子

区議会報告

江東区は昨年3月策定した「江東区基本構想」(期間約20年)に基づき、来年度より10年間の期間とする「長期基本計画」の策定作業を進めています。

加(14歳未満約1万8千人、65歳以上約2万6千人)とすると見込んでいます。

保育園に子どもを入れ保育園



「長期計画」に少人数学級実現 特養ホーム増設計画を盛り込み

12月21日の区議会全員協議会に江東区は素案を示しました。

来年度より10年間の期間とする「長期基本計画」の策定作業を進めています。

たい若い子育て世代にとって増設は、暮らしが成り立つかどうかの問題です。共産党区議団は、全員協議会で待機児解消目標

「こあいさつ」
日本共産党参院東京選挙区候補
参議院議員・医師
小池 あきら

「こあいさつ」読者のみなさん、新年のこあいさつを申しあげます。自民・公明政権が退場し、新しい政治が始まりました。昨年の都議選、総選挙では「こんな政治では生きてゆけない」と、ぎゅっと手をつかまれました。その握手の強さは忘れられません。「競争する国にしないためがんばってほしい」という、祈るような瞳も目に焼きついていてます。今年はいよいよ参議院選挙です。私にとつても、文字通り「勝負の年」となります。

東京選挙区の議席を取り戻すために、持てる力を出し尽くしてがんばる決意です。どうかお力をおかしく下さい。「こあいさつ」読者のみなさんが、今年もお元気で過ごして下さいるよう願っています。

消費税増税NO! 新春宣伝



1月4日初詣でにぎわう富岡八幡宮前で「消費税なくす会」の新春の宣伝・署名がおこなわれました。「私は90歳になるが今の政権にも期待出来ない。あと10年長生きして、あんた達がんばって、年よりが安心して暮らせる政治をみたい」と強い期待の声が寄せられました。

次期区議予定候補

	赤羽 たみお (現) 32歳		正保 みきお (現) 52歳
	大つき かおり (現) 42歳		すかや 俊一 (現) 55歳
	きくち 幸江 (現) 56歳		そえや 良夫 (現) 56歳
	斉藤 信行 (現) 61歳		坂口 けいじ (新) 30歳

潮騒

民主党政権に代わって初めての新年を迎えました。永年つづいた自民党政治の大企業中心、アメリカの政権がどこまで切り込んでいくのか、鋭く問われる年になります▼この不況下にも拘わらず輸出大企業が約64兆円もの利益剰余金をためこんでいるのに、昨年10月から25万人も倒産・解雇で失職し、完全失業者は330万人に達します。とくに氷河期といわれる高校生の就職難には胸が痛みます▼先進国では日本だけという東京・渋谷の公設派遣村には、失職とともに住居からも追い出された働き盛りの労働者が833人も入所したとの報道、利潤第一主義の大企業が国民のいのちやくらしを犠牲にしている現実が浮き彫りにされています▼政府は労働政策審議会の労働者派遣法改正の答申をうけて、登録型派遣・製造業派遣の原則禁止など、一定の労働者保護を盛り込んだ法案を通常国会に提出する予定だといいますが、その施行期日は3年から5年後と先送りされています▼13年間も実現していない普天間基地返還も、現政権の迷走が続き結論は5月ごろまで先送り。安部50年の呪縛から解放される第一歩として、辺野古に新しい基地の杭を打ち込ませないために、24日投票の名護市長選の勝利が切に期待されています。

平和・くらし風土記



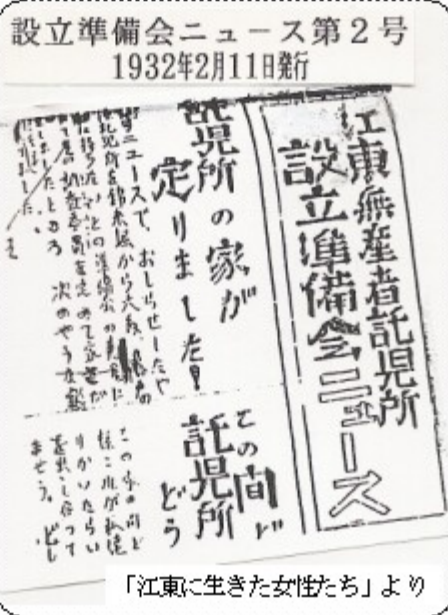
鈴木俊子と亀戸無産者託児所

世界恐慌による日本の大不況のなか、1932年（昭和7年）、亀戸無産者託児所が亀戸一丁目に設立されました。

その託児所の様子を徳永直はルポ「失業密集地帯」で、「古工場を修理した家、小さいオルガン、すべり台、遊動円木、材木のきれっぱし等々。在籍数は46人、保母は財政困難で月に一度か二度しかお湯に行けない」と書いています。

設立趣旨は「どんなに苦しくとも子どもだけは正しく丈夫に育てたい」、設立準備会に教育団体、労働組合、消費組合、文化団体など。個人では川崎なつ、羽仁説子、大宅壮一など進歩的文化人約50人が参加しました。

当時の主任保母が鈴木俊子です。俊子は幼い子どもをつれて託児所に住み込み働きました。夫は映画「日本の青空」に登場した憲法学者の鈴木安蔵です。安蔵が検挙投獄されているなか、俊子は幼い長女の手をひいて託児所の資金集めに工場街を毎日歩きました。



託児所は女性の働く権利と子どもの生存権の保障を基礎に生活擁護運動とも連携しました。その様子を宮本百合子は「乳房」で「亀戸無産者託児所では、市電ストン応援活動のために特別な父母の会が催された。」と書いています。また作家松田解子は「私たち江東居住の主婦にとって、（託児所は）かけがえのない恩人」とも言っています。託児所は、保母の逮捕や弾圧により2年で閉鎖せざるを得ませんでした。

戦後、俊子は静岡大学教授となった夫と静岡に住み、晩年は絵などを描いて東京でくらししました。

15時までで40歳から60歳の方々が寄せられた相談は15件。「9ヶ月もハローワークに通っているが仕事が見つからない」

住民のくらし・福祉まもる防波堤に

区職労坐り込み要請



国政でも都政でも昨年の選挙による民意を反映して前向きの変化が生まれています。しかし、江東区政は依然として自・公・民オール与党体制のもとで、構造改革による効率だけを追求するアウトソーシングを推進、住民自治に背反する施策がすすめられています。

12月22日、江東区職労労働組合は2010年度予算人員要求入り込み要請行動を行いました。区役所4階ロビーに6時半すぎから詰めかけた300人余の組合員は、交渉にのぞむ職場代表の要請団を送りだし、執行部の報告と各職場の要求に耳を傾けていました。

江東区の人口はマンション建設ラッシュで年々増えつづけ50万人に近づいています。人口増にも

ない乳幼児から高齢者に対応する行政の責務は重くなるにも拘わらず、区当局は不況による200億円の減収を理由に、大規模な人員削減（92人）を提案してきました。区は定率減税廃止以来の増税や民間委託などの経費削減で溜め込んだ670億円（一般会計の約45%）もの基金には手をつけようとしていません。

そして、行政組織改正による部・課の改廃に果して人員削減をはかります。高齢福祉課と高齢事業課の統合で6人が4人に、青少年センターの11人が9人に、国保年金課は2人削減など。また、今年2保育園民営化で37人の保育士削減、育休、産休などで必要な新規採用もありません。現在でも生活保護のケースワーカーは最も多い人では1人で1

40人も担当、城東保健相談所では67000人の地域に保健師が6人しかいないなどの実態は全く顧慮されていないのです。この10年間10000人超の職員削減。トイレにもいけないような慢性的過重業務と人員不足は区民サービスの低下をもたらす。区民の奉仕者を志向する職員と区民との信頼関係をそこなうばかりか、区民との分断をはかる離間策に利する結果となります。

庶民の苦難に寄り添って いのち・くらし・雇用の街頭相談会



「雇用保険でくらししているが、間もなく切れてしまう」「電話も切られ、この半年、風呂も2回しか入っていない」「自分の葬式代ぐらいと貯金があるので生活保護も受けられない、老後が心配」「息子が働くようになり、収入オーバーで都営住宅から追いだされるのではないか」。また医療・介護でも「体中ガンを蝕まれ、相談相手もなくどうしていいのかわからない」「介護度2の夫をかかえ、朝も夜も働いて心身ともに疲れ果てている……」

このようにひとりでは悩まされている実態に接した相談員は、いま活用できる施設や制度の説明と紹介、今後の対策など、相談者の苦難に共感しながら懇切に対応していました。

1・2月の行事案内

- 1月18日（月） 18時30分 江東社保学校、小池あきら参院議員、江東土建会館
- 1月20日（水） 18時30分 江東区労連旗開き 江東土建会館
- 1月21日（木） 19時 5・16青年大集會実行委員会、江東文化センター
- 1月24日（日） 14時 墨東病院存続の宣伝・署名行動、錦糸町駅北口
- 2月10日（水） 19時16分 江東区労連青年部臨場交流会、魚島魚島東陽町店